

Back Number

本論文は

世界経済評論 2024 年 3/4 月号

(2024 年 3 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%
送料無料
OFF



富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン販売

21 世紀の啓蒙 (上・下)

：理性、科学、ヒューマニズム、進歩

株式会社サードウェブ特別顧問
本誌評議員

栗田 瑞夫



【著者】 スティーブン・ピンカー (Steven Pinker)

ハーバード大学心理学教授

【発行】 草思社, 2023 年 2 月刊

【判型】 文庫判, (上) 560 頁 / (下) 640 頁

【定価】 上下各・本体 1600 円 + 税

啓蒙主義とは今更述べるまでもなく、「理性」を絶対の立場に置き、諸制度を合理的に批判、市民を無知から解放しようとする思想で 17 世紀のイギリス市民革命、18 世紀のフランス革命の背景をなしたもの。代表的人物にはモンテスキューが挙げられよう。

「21 世紀の啓蒙」と銘打った本書は、近時高まった強権国家の台頭、気候変動のもたらす災害、パンデミックの流行、地域紛争の拡大、更には核使用の脅威等々に直面して、ともすれば人類の将来について悲観的に流れがちな現代人に対して、豊富なデータを駆使して、人類は着実に進歩・発展してきた、将来もこの歩みは止まらなると説き、明るい展望を画く、言わば悲観

派に対する頂門の一針とも言うべき書である。

著者のスティーブン・ピンカー氏は、カナダ出身のアメリカの心理学者で、かつて米タイム誌の「最も影響力のある 100 人」に選ばれたこともあり、著書も多い。正に知の巨人である。

本書に一貫して流れている論旨は冒頭述べた如く、人間の生活が逐年豊になってきた証左として、多岐に亘る項目を列挙していることに盡きる。曰く、富の増大、寿命、健康の改善増進、暴力の減少、生活安全度の向上等、数字に基づき検証されており、マクロ・ミクロの数字を各々一例のみ引用すれば、今日の世界総生産は産業革命終期の 1820 年に比してほぼ 100 倍に増大している由。また生活水準は 1901 年のアメリカ人労働者の 1 時間当たりの賃金で買える食料品の量に比して今日では、ミルク 5 倍、バター 5 倍、卵 12 倍と上昇しているとか。かかる結果のゆえか、オバマ元大統領は「若し国籍、民族、家庭の如何を問わずどの時代に生まれたいかと問われれば、間違えなく現代と答える」と述べたとか。

現在は歴史上一番いい時代であり、これをもたらしした啓蒙主義の理念たる理性、科学、ヒューマニズムの恩恵を我々は再認識すべきと警告している。

以上、厩大な客観データに基づき人類の進歩を辿っているが、終巻近くに至り、ニーチェの哲学を排し、トランプ前大統領のもたらすポピュリズムには、支持者層の人口動態から推して未来は無いと断じる等、著者の主観を披歴している箇所もあり興味深い。

オブティミズムに溢れる本書に勇気づけられること必定なるも、イアン・ブレマー著『危機の地政学』の併読もまたおすすめである。

(くりた みづお)